

# 平成 29年度 とちぎ夢大地応援団 カレッジ活動

## 「塩谷町上沢地区」

### 第1回活動報告 H29・11・26(日)

とちぎ夢大地応援団カレッジ活動は、平成 23 年度から実施しているもので、次世代を担う若い人たちが農地保全などの活動を通じて豊かな農村環境の維持・保全の大切さを学び、さらに伝統文化に触れ農業農村への理解を深めてもらうための活動です。

今年度は宇都宮大学の学生を対象に年間 3 回実施することになり、第 1 回目の活動が 11 月 26 日、塩谷町上沢地区で開かれ、学生たちは地元の人たちと一緒に獣害防護柵の設置作業を行いました。

今回参加した学生は、宇都宮大学農学部の 1~3 年生 9 人です。学生たちは地元の人から作業の手順を教わり、メッシュ柵を運ぶ人、柵を鉄の支柱に結束する人など担当に分かれて作業を行いましたが、すぐに技術をマスターして高さ 2m、幅 1.3m のフェンスを次々と繋いでいきました。

昼食は、公民館で地元の女性たちが作った地元産野菜をふんだんに使ったサラダやカレーがふる舞る舞われ、おいしい食事にほとんどの人がおかわりをしていました。

食事のあとは地元の話などで交流し、午後も 1 時間半ほど柵の設置作業を行いました。

学生たちは、「柵の設置は人手が少ないと、大変な作業だと実感した」「他人のために労働する機会を得て、すがすがしかった」「たくさん体を動かし充実した一日だった。機会があればまた参加したい」と、それぞれ感想を語っていました。



地元の人たちと一緒に記念撮影を行いました



この日は宇大生のほか、一般の夢大地応援団員も参加しました



宇都宮大学生が担当した箇所は勾配がきつく足場の悪い所でしたが、若さで克服



昼食は他のとちぎ夢大地応援団の人たちと一緒にいただきました



地元の女性たち手づくりの昼食は味は格別。学生のおほとんどがおかわりをしていました